

油圧プレス 12トン

取扱説明書

品番 UPA-12

【※ご使用前に必ずご一読ください※】

この度は、KIKAIYA「油圧プレス 12トン」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

- *この取扱説明書は、商品の正しい使い方やメンテナンス方法、使用上の注意について記載しております。
- *本書を最後まで必ずお読みいただき、商品を正しく取り付し、お使いください。
- *本書が必要になったとき、すぐ利用できるように大切に保管してください。



■調査及び修理をご依頼の前に

* 故障とお考えの前に、弊社までご相談ください。

改造により故障及び損傷した場合は修理対応できませんのでご注意ください。

* 調査を依頼される際の送料は、お客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。

(製品改良の為、予告なく仕様変更をする場合がございます)

■開封時

開封したらすぐに中身(動作)を確認してください。

付属品の欠品、破損、初期不良等がございましたらすぐに販売店にご連絡ください。

※商品は到着しましたら7日以内に必ず開封して中身(動作)をご確認ください

■注意事項

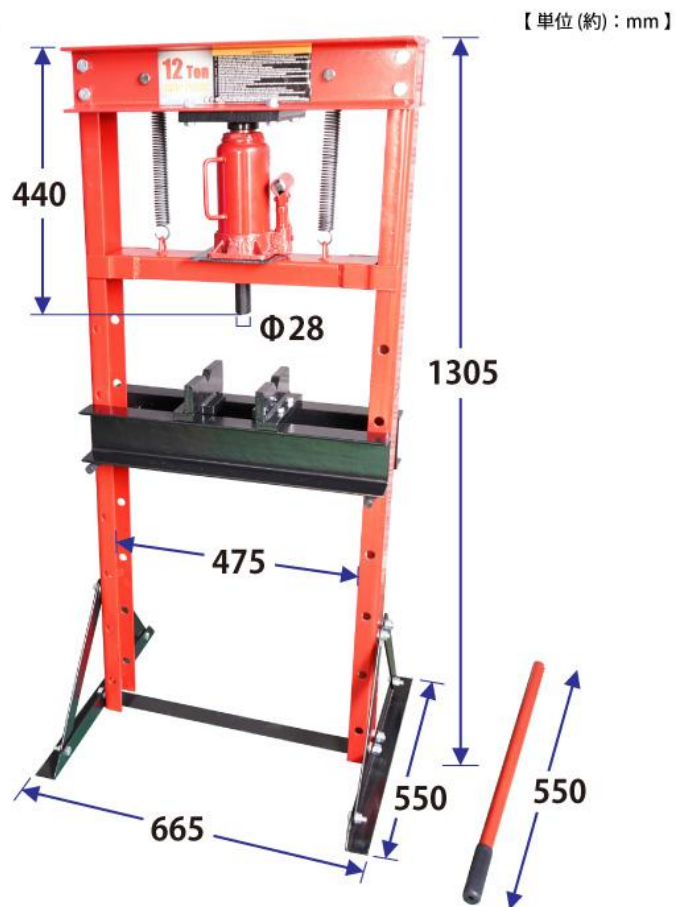
- 使用前には取扱説明書を熟読し本製品の使用方法をよく理解してから使用してください。
- 本製品の分解・改造はしないでください。修理技術者以外の方は絶対に分解や修理はしないでください。
- 本製品使用前には、必ずネジの緩み各部に異常がないかを確認してから作業を行ってください。
- 使用目的以外では使用しないでください。事故や怪我の原因になります
- 能力以上の重さをかけないでください。事故や怪我、本体破損の原因となります
- 偏荷重にならないように常に注意し、本体の傾きを感じた場合は直ぐに使用を中止してください。
- 使用中は、アーバープレートに手を近づけないでください。事故や怪我の原因になります。
- プレス中(圧縮中)にベースプレートを動かさないでください。
- 点検・メンテナンスの前には負荷を解放してから行ってください。
- 製品が転倒しないように使用前には床にボルトで固定するなど、転倒防止措置をしてください。
- アーバープレートを置く場合は、プレステーブル上はきれいに保ちます。アーバープレートが障害物の上にあるとプレスが不均一になり、製品に過度のストレスが発生し製品が破損する可能性があります。
- ホースに重い物を落とさないでください。ホースのよじれを避けてください。
- リリースバルブは急激に回すとジャッキベースプレートが一気に上昇し、作業対象物が落下する恐れがあり事故や怪我の原因となりますので、ゆっくりと慎重に回してください。
- 各部の損傷や異常がある場合は、必ずお買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- 必ず固く平らで傾斜のない床面で使用してください。不安定な床面、雨が降っている中での作業や、湿った場所や濡れた場所では使用しないでください。
- 高温・直射日光下では使用しないでください。
- 作業場所は明るく清潔に保ち、整理・整頓された場所で作業をしてください。
- 作業中は作業に適した服を着用し、だぶだぶの衣服やネックレス等の装飾品は周囲に引っかかり怪我をする恐れがありますので着用しないでください。
- 作業中は安全のため、保護具(安全ゴーグル、安全手袋、安全靴等)を着用し作業を行ってください。
- 作業員以外は作業場に近づかないでください。特に子供は危険な行動をとることがあるので近づけないよう、十分に注意してください。

- 取扱説明書に記載されている注意事項および指示は、発生する可能性のある全ての条件および状況を網羅しているわけではありません。

■仕様

商 品 名	油圧プレス 12トン(手動)
品 番	UPA-12
能 力	12トン
サ イ ズ	高さ 1305×幅 665×奥行 550mm 台座高さ調整 6段階調整(125mm 刻み)
シリンダーストローク	125mm(1 ストローク約 2mm)
有 効 作 業 幅	685mm

SIZE



■組立て方法



組立て前に保護具(安全メガネ/軍手/安全靴等)を装着してから組立てをおこなってください。

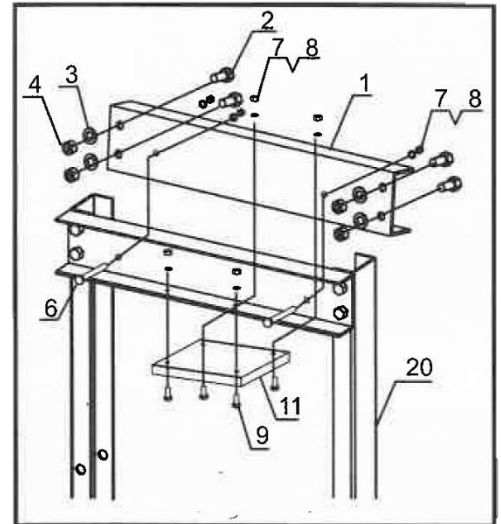
組立て前にパーツが全て揃っている事を確認して下さい。(不足部品がある場合は販売店へご相談ください)

	手 順	図
1	<p>フレームポスト(20)を安定した平らで水平な面に置きます。 トップビーム(1)の穴をフレームポスト(20)の上部の穴に合わせ、ボルト(2)、ワッシャー(3)、ナット(4)で所定の位置に固定します。 (図1を参照)</p> <p>※M18/M19 スパナをご使用ください</p>	
2	<p>フレームポスト(20)を直立させます。 各ベースサポート(24)をフレームポスト(20)の横に設置し、ボトムサポートプレート(23)をそれらの間に配置します。 ボルトの穴を揃え、フレームポスト(20)、ベースサポート(24)、およびボトムサポートプレート(23)にボルト(2)を挿入し、ワッシャー(3)とナット(4)で所定の位置に固定します。</p> <p>※M18/M19 スパナをご使用ください</p>	
3	<p>ボルト(21)、ワッシャー(7)、およびナット(8)を使用してベースサイドサポート(22)をフレームポスト(20)とベースサポート(24)に取付けます。</p> <p>※M16/M17 スパナをご使用ください</p>	

4

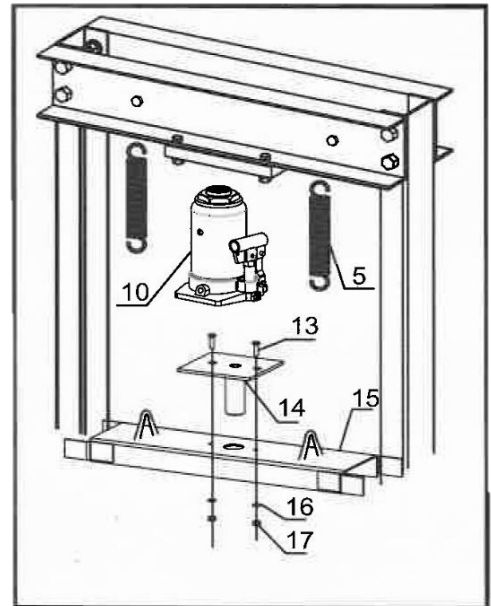
トップビーム(1)の穴をフレームポスト(20)の上部の穴に合わせ、ボルト(2)、ワッシャー(3)、ナット(4)で所定の位置に固定します。ボルト(6)、ワッシャー(7)、ナット(8)を使用して上部ビームの穴を取付けます。

※M18/M19/M17/M16 スパナをご使用ください



5

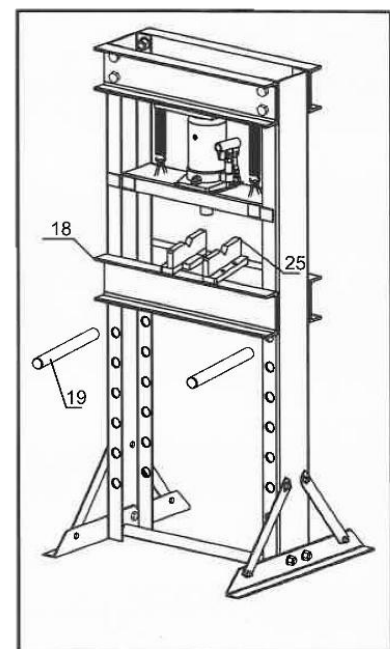
ジャッキベースプレート(15)をスプリング(5)を使用して吊ります。カップリング(14)をボルト(13)、ワッシャー(16)、ナット(17)を使用してジャッキベースプレート(15)に取付け、ボトルジャッキ(10)をジャッキベースプレートとトップビームの間に取付けます。



6

サポートピン(19)をフレームポストの穴にスライドさせます。プレステーブル(18)に角度を付けて、プレステーブルのレールをフレームポストの間に入れます。プレステーブルがサポートピンの上に乗るように配置します。次に、プレステーブルにアーバープレート(25)を置きます。

組立完成



■使用方法

<プレス>

1. レリーズバルブが締まっている事を確認します。
(締まっていない場合は、ハンドルをレリーズバルブにはめて時計回りに回転させます)
2. ハンドルをジャッキ横のハンドル挿し込み口へ挿し込みます。
3. ハンドルを上下にポンピングします。
4. ゆっくりとジャッキベースプレートが下降します。
(1 ストローク約2mm)

<解放>

1. ハンドル挿し込み口よりハンドルを抜きます。
2. ジャッキのレリーズバルブにハンドルの切れ込み部分をはめこみます。
3. 反時計回りにゆっくりと回転させるとジャッキベースプレートが上昇します。
(レリーズバルブは回し過ぎると外れる可能性がございますので、半回転程度で調整してください)
4. ハンドルを使用してレリーズバルブを締(時計回りに回転)めます。



レリーズバルブ



ハンドルの切れ込み部分
にはめ込み回転させる

<レリーズバルブの回転方向>

■締める＝時計回り

■緩める＝反時計回り

■エアー抜き

1. レリーズバルブを緩めた状態でハンドル(ポンプ)を数回(10回程度)動かします。
2. 通常どおりレリーズバルブを閉めてハンドル(ポンプ)を動かします。
上記を2～3回繰り返すとエアーが抜け、シリンダーが動きます。

■ パーツリスト・分解図

番号	名称	個数
1	トップビーム	2
2	M12×30mm ボルト	12
3	M12 平ワッシャー	12
4	M12 小型ナット	12
5	スプリング	2
6	M10×100mm 半ネジ	2
7	M10 平ワッシャー	18
8	M10 ナット	14
9	M10×35mm ボルト	4
10	ボトルジャッキ	1
11	ジャッキヘッドプレート	1
12	ハンドル	1
13	M8×15mm 皿ネジ	2
14	カップリング	1
15	ジャッキベースプレート	1
16	ワッシャー	2
17	ナット	2
18	プレステーブル	1
19	サポートピン	2
20	フレームポスト	2
21	M10×25mm ボルト	8
22	ベースサイドプレート	4
23	ボトムサポートプレート	1
24	ベースサポート	2
25	アーバープレート	2

